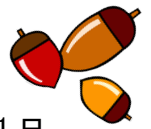


# ほけんだより

令和5年10月1日



季節に関係なくインフルエンザによる感染流行が報告されています。また活動が緩和されたことにより、新型コロナウイルス感染症も増えてきています。ウイルスが活発に活動してくる時期になってくるので、感染予防に努めましょう。(インフル・コロナ同時接種可能)

10月から、インフルエンザの予防接種が始まります。予防接種の特性を知って、早めに接種を受けましょう。

## ◆ 2回の接種が必要

13歳以下のお子様は2回接種が必要です。1回目と2回目との接種間隔は2~4週間あけます。

## ◆ 効果は2週間後から

免疫が出来るのは2回目接種から2週間後に出ます。

## ◆ 効果期間

予防接種の効果が持続するのは約5ヶ月と言われています。

※アレルギーのあるお子様は医師と相談してください。

## 新型コロナウイルス感染症 の予防接種について

日本小児学会が推奨していますが、12歳以上・5歳~11歳まで・6ヶ月~5歳までのワクチン種類が区分されています。

ワクチンの安全性や効果や副作用など医師とよく相談してみましょ。

## 感染症の季節を乗り切りましょう！

### 《こんな時はおうちで様子を見ましょ！》

- ◆ 24時間以内に下痢や嘔吐を繰り返している。
- ◆ 38℃以上の熱が24時間以内にあった。
- ◆ 解熱剤を使用した。 ➡ 薬の働きで症状が抑えられているのでぶり返す危険がある。
- ◆ 夜間に咳が出たりゼイゼイしたり、なかなか寝られなかった。  
➡ 熱がなくても咳は体力を奪います。
- ◆ 朝体温が37.5℃以上ある。また平熱より1℃高い。 ➡ 日中に熱が上がってくるかも。
- ◆ 朝食後下痢・嘔吐した。 / いつもより元気がない。 / 機嫌が悪い。顔色が悪い。  
➡ 体調が悪くなるサインかも。
- ◆ 発疹が増えている。
- ◆ 鼻水がひどい。 ➡ 鼻が詰まる事で呼吸が苦しくなり食欲が低下するかも。

※小さいお子さんは体調をうまく伝えることが出来ないなので、「いつもと違う」サインを見逃さないようにしましょ。

★ 発熱・鼻水・喉の痛みなどの鼻と喉の風邪と、嘔吐・下痢・胃腸炎などのお腹にくる風邪があり、急な発熱・関節痛・悪寒などが見られるときは、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の可能性もあります。症状によって風邪の種類が違いますので、症状が悪化しないように無理をせず、しっかりと治して元気になってから登所しましょ。